

# 令和2年度庄原市食育研修会

令和2年6月30日（火） 庄原市ふれあいセンター

学校や地域において、食の課題解決に向けた組織的、計画的な取組を行うため、本研修を通して、食に係る指導内容の充実を図るとともに、各校の教育活動に資することを目的に、研修会を行いました。

## 【講話】 「本県及び本市の食育の現状と取組の推進について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 片山 博子



◆本県及び本市の食育の現状や今年度の重点的な取組について講話を行った。

- ・令和2年度の本県の食育の取組は、「ひろしま給食100万食プロジェクト」と「栄養教諭を中心とした食に関する指導の充実」である。
- ・本市の食育推進の課題は、「偏食・好き嫌いによる給食の残菜」「食事マナー」「家庭との連携」である。

## 【講話】 「第3次庄原市食育推進計画について」

庄原市保健医療課健康推進係 主事 石原 直美



◆第3次庄原市食育推進計画について講話を行った。

- ・庄原市では、生活習慣病を予防するために、様々な場面で子供達に食の重要性について考えたり興味をもたせたりするための取組を進めている。
- ・市民アンケートの結果、就寝時間が遅い児童生徒ほど、朝食欠食率が高い状況があり、子供・若い世代の意識を向上させることを目指した食育の実践を行っていく。

## 【実践発表】 「カリキュラムマネジメントの視点を踏まえた校内の食育推進～東城小学校の実践について～」

庄原市立東城小学校 栄養教諭 寺尾 侑夏



◆カリキュラムマネジメントの視点を踏まえた校内の食育推進について東城小学校の実践をもとに具体を発表していただいた。

- ・各担任と連携しながら、教科と関連付けた食に関する指導を各学年で実施している。給食時間や委員会活動、朝会等、学校教育活動全体を通して食育の推進を行っている。

### 【参加者の振り返りより】

- 「ライフステージに応じた食育」の学齢期の項目を参考に、自校での取組を再検討していきたい。
- 本市の食育の現状について理解することができた。これからの社会を支える子供たちの食育・健康教育の大切さについて新たな知識を得られたため、職員で共有するとともに啓発していきたい。
- 東城小学校の実践から、各学年で行う食に関する指導について大変参考になった。自校でも、委員会の児童が主体的に活動し全児童へ啓発できる場を設定したり、栄養教諭と連携した給食指導を実施したりしていきたい。

